

はちまんたい議会だより

ギカイのひろば

No. 78

2025年(令和7年)
1月23日



ピーターパン劇
上手にできたよ

— 平館こども園 —

主な内容

- 議員と語る会……………P 2
- 12月定例会……………P 4
- 一般質問(8人)……………P 6



議員が4会場に分かれて参加者と意見交換を行いました
(市役所大ホール・11月15日)

議員と語る会

市への提言に向け 市民と議員が対話

八幡平市議会は令和6年11月15日、16日、21日の3日間、議会報告会「議員と語る会」を開催しました。議員が1班と2班に分かれて市内4会場で実施し、合わせて36人の市民の方からご参加をいただきました。議員が令和6年第3回定例会などの議会報告をしたほか、「ギカイのひろばの内容で語ろう」をテーマに、全会場で意見交換を行いました。今回は内容の一部を紹介します。

1 班

● 11月15日 ●
八幡平市役所
大ホール

■ 参加者 7人

- ▼「ギカイのひろば」の大更駅前顔づくり施設に関する特集記事に、建設費の記載がないのはおかしい。わざと掲載していないのか。
- ▼大更駅前顔づくり施設の子育てエリアは、子育てをする人の意見を取り入れているか疑問である。遊具の安全面などを含めて、専門家を入れて検討してほしい。
- ▼移転する図書館は、地域文化の象徴でもあるため、蔵書の充実を希望する。
- ▼農家は物価高騰による経費の増大に苦しんでいる。対策をしてほしい。
- ▼繁殖育成センターは、赤字垂れ流し施設になるのではないかと。改善策を考えた方がよい。
- ▼市外への通学に補助を出しているようだが、平館高校への入学者が増えるように補助を止め、地元に着着できるように支援してほしい。

2 班

● 11月16日 ●
大更コミュニティ
センター

■ 参加者 18人



多くの市民の皆さんが参加

- ▼中学校の統合については、西根中、西根一中、松尾中の統合住民説明会が開催されているが、財政問題、教育的観点に立って計画的に進め、早めるべきである。
- ▼共働き家庭が多いので、朝早くから夜遅くまで子どもを預けられる場所や病気の時に保育をサポートする場所を作してほしい。
- ▼市内の自主防災組織の運営・指導について、市がもっと力を入れるべきである。

1 班

● 11月16日 ●
荒屋コミュニティ
センター

■ 参加者 4人



議員と市民との親睦が深まりました

- ▼「ギカイのひろば」が変わったことを感じる。内容も充実し、見やすく良くなった。
- ▼JR花輪線の沿線にある生い茂った支障木について、地域住民で伐採しているが、鳥獣被害も含めて、行政やJR東日本に対応をお願いしたい。
- ▼八幡平市は、ごみのリサイクルが進んでいないように感じる。リサイクルの強化・分別方法の強化指導を行ってほしい。

2 班

● 11月21日 ●
八幡平市役所
多目的ルーム

■ 参加者 7人



若い世代も参加してくれました

- ▼公共施設には、屋根付きの車いす専用駐車場を整備してほしい。
- ▼地域の声が市に届きにくくなっている。コミュニティセンター単位でテーマトークを開催してほしい。また、市民から出ている意見を、少しでも市の総合計画に反映してもらいたい。
- ▼シルバー人材センターの会員が脱退を余儀なくされた。シルバー人材センターの運営の公平性を検証してほしい。

12月定例会

●会期 12月5日～12月13日(9日間)

「部制の施行」行政組織条例 など提出議案16件を可決

今回は	
報告	1件
市長提出議案	15件
議員提出議案	1件
請願	1件



12月定例会議案採決(議案第2号)

【議案第1号】 令和6年度八幡平市一般会計補正予算(第6号)の専決処分に関する承認を求めることについて

1641万円増額 補正予算専決処分

衆議院議員総選挙の実施に伴い、所要の補正を行う必要が生じたが、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、専決処分するものです。

Q 衆議院議員総選挙費用の補正だが、そのうち20万4000円が財調基金からの繰り入れになっている。費用の全額が県から交付されるものではないのか。

A 今回の選挙の対象経費は、県の交付金だが、一部の備品購入費に関しては、全額ではなく、その一部が交付金の対象である。

【議案第2号】 八幡平市行政組織条例

組織機構を見直し 7年度から部制に

令和8年度からの第3次八幡平

市総合計画による市勢発展に資する在り方について検討を行い、7年度から部制を施行し、より一層の組織横断的な施策の推進、迅速な政策企画立案など、組織強化を図り行政サービスの向上に努めようとするものです。

【議案第8号】 八幡平市印鑑条例の一部を改正する条例

印鑑登録証明書の コンビニ交付開始

コンビニエンスストアなどに設置されている多機能端末機による印鑑登録証明書の交付を開始することに伴い、所要の整備をしようとするものです。

Q スマートフォンを利用して印鑑登録証明書を発行できるということだが、マイナンバーカードを持たない人も利用できるのか。

A スマートフォン用電子証明書搭載サービスということで、スマホからも証明書を発行できるが、マイナンバーカードを持っていない人は利用できない。

【議案第12号】 令和6年度八幡平市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

1億6220万円 増額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ1億6220万円を増額し、総額30億5041万7千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

▼一般被保険者療養給付費
1億2000万円(増額)

Q 給付費の1億2000万円は、県の試算だと思うが、市が関わっている部分はあるのか何う。

A 市では、県の様式にのっとり、医療費や国保の保険者などの情報を報告している。県で全体の試算をしている。県の支出金で予算を組んでいるが、足りなくなった場合には、どのような処理になるのか。

A 基本的には、補正予算で対応している。また、国保会計の基金があるので、不足した場合は、基金を繰り入れて運営していく。

【議案第11号】 令和6年度八幡平市一般会計補正予算(第7号)

2億3132万円 増額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ2億3131万8千円を増額し、総額191億8810万3千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

▼除雪事業
1億4254万8千円(増額)
▼予防接種事業
1802万1千円(増額)

Q 除雪業務委託料は、今回の補正で約1億4000万円、当初予算で約1億8000万円、合計で約3億2000万円である。作業単価が上昇したとのことだが、どれくらい上昇したのか何う。

A 補正予算に計上した単価上昇に伴う増額は、約1400万円、1時間当たりの単価としては、300円から500円の上昇となっている。そのほかの補正については、気象庁などの長期予報に基づき、必要額を再

教員の長時間労働 是正を求める請願

請願趣旨

(請願者) 岩手県教職員組合(いわて盛岡支部支部長青野大祐) 教職員不足や長時間労働が深刻化する中、「給特法」を廃止し、労働基準法を適用して時間外労働手当を支給する必要がある。また、国が具体的業務削減策を提示し、教職員が子どもたちに向き合える環境を整えることが必要です。これらについて、国の関係機関への意見書提出を請願いたします。

▼総務教育常任委員会の審査結果
採択すべきものと決定

教職員が一人一人の子どもに十分に向き合える環境の整備と子どもたちの豊かな学びを保障するため、また、深刻な教職員不足を解消するために、実効性のある処遇改善や業務削減を行い、教職員の勤務環境の改善を行うことが必要と考える。

■本会議決議結果 採択

質問した事項

関 治人 議員（八起会）……………06

- ・デジタルトランスフォーメーション（DX）について
- ・岩手山噴火警戒レベル「2」に引き上げられたことによる対応について
- ・樹海ラインの通行止めについて

渡辺 義光 議員（市民クラブ）……………07

- ・大更駅自由通路の活用とにぎわいづくり創出について
- ・八幡平市ホストファミリーの会とタマサート大学交流30周年記念事業と今後の展望について

勝又 安正 議員（八起会）……………08

- ・シルバー人材センター運営事業について
- ・市道鴨志田線整備事業の進捗状況について

高橋 悦郎 議員（日本共産党）……………08

- ・八幡平市ごみ処理基本計画について
- ・県央ブロック焼却処理以外の中間処理体制に関する基本方針（案）について
- ・会計年度任用職員制度について

齊藤 隆雄 議員（日本共産党）……………09

- ・熱中症対策について
- ・自衛隊への名簿提供について
- ・訪問介護の現状について

熊澤 博 議員（自由クラブ）……………10

- ・市内建設業の振興策の在り方について
- ・特別障害者手当の支給について

工藤 多弘 議員（松西会）……………10

- ・（仮称）大更駅前顔づくり施設について
- ・少子高齢化や人口減少問題について
- ・自主防災組織について

井上 辰男 議員（八起会）……………11

- ・公共関与型産業廃棄物最終処分場について
- ・公共施設等マネジメントの取り組みについて



関 治人 議員

（八起会）



岩手山への今後の対応は 岩手山火山防災協議会で



岩手山への立ち入り規制看板

問 国は仙台管区気象台の観測に基づき、警戒区域を火口からおおむね2km圏内としたが、市はなぜそれ以上の範囲まで規制したのか。

市長 平成30年に策定された避難計画に準じ実施した。今回の規制については、8年前に制定された避難計画をそのまま運用されたようだが、規制範囲が気象台の発表と違うことや運用面での矛盾を感じる。見直しが必要ではないか。

問 地滑りにより樹海ラインが閉鎖されているが、開通の見通しは。

市長 雪が解けた後に調査を行い、判断される。早期に検討するべきでは。関係機関と連携して対策を考慮する。

市長 法律やガイドラインの規制緩和がされておらず実装には、まだ課題が残る。今後の見直しは。



渡辺 義光 議員

（市民クラブ）



JR乗って歩いて再発見 12駅にフットパス検討中

問 ケネディ元大統領の名言「国があなたのために何ができるかを問うのではなく、あなたが国のために何ができるかを問うてほしい」。地方自治の原点である。市婦人会では、「花と輪健やか21」活動でこれを実践している。花輪線を利用し

ようを合い言葉に最寄り駅から乗車し、ガイドとともに駅周辺の名所・旧跡を歩いて回る。地域への愛着や誇りを育むフットパスのモデルである。私も趣旨に賛同し、活動が広がるようガイドを務めている。提案したフットパスの検討結果は、

市長 5年度の大更駅乗車人員は1日平均188人。年々利用者の減少が続いている。議員から2回ご提案のあった、市内12駅を拠点にして景観や文化財を活用したフットパス事業は、駅への愛着を育み地域資源を生かした観光振興、まちづ

くり有効である。各課との連携を図り、各駅にフットパスコースの設定を検討中である。自由通路は市道大更駅自由通路線として管理している。階段や廊下を活用したイベントや物販については、道路の使用許可など事前協議が必要である。



もっとJR花輪線を利用しよう!!

タマ大学交流30年

問 市ホストファミリーの会とタマサート大学との交流は30周年を迎えた。成果と市の支援の考えを伺う。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



かつまたやすまさ
勝又安正 議員
(八起会)



シルバー人材の運営強化

就業機会の拡大に努める

問 シルバー人材センター運営補助事業の目的は、就業の機会と社会参加により、自立が促され、高齢者の就業が促進されるとある。一方、企業などの定年延長が進み、会員の加入推進が進んでいない現状である。シルバー人材センターは、これから

就業機会を拡大することは、健康増進や生きがいと社会参加促進に寄与する。今後も継続して支援する。
市道鴨志田線整備事業の進捗状況は

市道鴨志田線整備事業の進捗状況は
問 計画から10年近く経過し、住民から不安と心配の声を聞く。今後の計画について伺う。

また、早い時期に住民説明会を行う。
国道沿いの騒音
問 大型トラックが荒屋新町地区の国道282号を通過する際の騒音対応は。



派遣会員募集中の看板



たかはしえつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)



ごみ排出量トップ返上を ごみ資源化多額投資必要



広域化で取り壊し予定の焼却施設

問 本市の令和5年度家庭系ごみは、1人1日当たり668gの排出量で県内では最も多い。主な要因は。

資源化が行われているが。
市道 プラごみの資源化は、市内で意思を共有している。プラごみの資源化を進めると、燃えるごみに含まれていたプラごみが減少して、焼却時の火力が下がり、これまで以上に重油を燃やすことにつながる。本

来はプラごみと一緒に、生ごみの資源化が必要である。しかし、現状では生ごみの資源化には、施設整備など相当な投資が必要になることから、生ごみ資源化の導入は難しいと判断している。近隣市町と知恵を出し合い、資源化につなげていきたい。

会計年度任用職員
問 人事院勧告を受け、会計年度任用職員の報酬は、4月まで遡って引き上げを行うのか。
総務課長 今年度から実績評価も行うため、人事院勧告どおり遡って実施する。



さいとう たかお
齊藤隆雄 議員
(日本共産党)



熱中症リスクへの対策は

正しい知識と対応策で

問 熱中症リスクの高い高齢者、障がい者、子育て世帯に対するエアコンの購入費用の助成について伺う。

状況である。そのため、エアコン設置に関して補助する考えには至っていない。

自衛隊へ名簿提供

問 名簿提供の法的根拠と提出の義務について伺う。

求めることができる」と規定されており、市では名簿の提供を行っている。

休止している。今後の対応の考えは。
市道 訪問介護サービスは、在宅で生活をする上で大切なサービスと考えている。どこの地域に住んでいる方でも必要なサービスが受けられる体制の構築を目指していく。



熱中症対策はエアコン使用で対応



くまざわ ひろし 議員
熊澤 博 (自由クラブ)



市の宅地開発許可制度

協議と開発協定の締結

問 当市における宅地の開発許可制度の在り方を伺う。
市長 平成17年に市宅地等開発要綱を定めており、都市計画区域内は2千平方メートル以上3千平方メートル未満の宅地開発事業を行う場合は、市と協議および開発協定の締結が必要である。

問 建設投資が減少する中、市建設協同組合には、軽舗装のような工事も必要ではないか。
市長 市建設協同組合には、西根・松尾地区の市道および権限移譲県道の除雪や安代地区の除雪・排雪作業を委託している。また、本年

度から西根・松尾地区の路肩除草や安代地区の防雪柵の組み立ても委託している。軽舗装などの早期発注が可能な工事に配慮して公共事業の推進に努める。

問 国の手当制度である特別障害者手当
問 別障害者手当の年間支給額は39万6080円で、肢体が不自由で介護が必要な人たちに助かるものである。制度の周知徹底は、どのように行っているのか。
地域福祉課長 障害者手帳しおりを渡す際の説明に加え、ホームページや広報に



除雪作業中の市建設協同組合



くどう たひろ 議員
工藤多弘 (松西会)



顔づくり施設の指定管理

7年度に指定管理者募集

問 (仮称)大更駅前顔づくり施設の維持管理について、賃金上昇や電気代を含む光熱水費の増加など、社会情勢を踏まえた精査が行われているのか。また、年間7〜9千万円の維持管理費を見込んでいるが、現状に変わりはないか伺う。

市長 県内で同程度の施設を所有する自治体にヒアリングを行った。その結果、光熱水費や点検費用、維持管理費などの増加傾向が確認された。当施設も大きな影響を受ける見込みである。各課と連携して施設運営に掛かるコストを抑制する。

問 施設の指定管理の要件・募集方法・審査方法について、内容の詳細を伺う。
市長 今年度中に運営方針を確定し、条例や予算などを審議後、募集要項を策定する予定である。7年度に指定管理者の募集を開始し、決定したいと考えている。

防災組織の結成
問 自主防災活動は、災害発生時に住民の命を守るため、非常に重要であると考える。しかし、当市の自主防災組織は3組織であり、早期に市内全域で自主防災組織を結成するべきと捉

えているが見解を伺う。
市長 市内全域での自主防災組織結成に向け防災リーダー育成や振興協議会単位での組織化に関する説明会を実施している。今後も人材育成と組織の重要性について説明会を開催し、速やかな組織化に努めていく。



工事が進む大更駅前顔づくり施設



いのう え た つ お 議員
井上辰男 (八起会)



平館松沢産廃最終処分場

供用開始は令和9年度

問 軟弱地盤改良工事により工期が延長となったが、奥州市「いわてクリーンセンター」に影響はないのか。
市長 かさ上げ工事で、埋め立て容量を増やし、令和9年度内まで受け入れ可能。
問 集中豪雨などで、下流域の松沢地内に水害が発生

した。今後の対応を伺う。
市民課長 一部越水対策として土のうを設置した。事業団を含め、水路管理者と協議し、越水対策を行う。また、緊急時の連絡先を地域住民に周知を図る。
問 (仮称)松沢大橋架け替え工事の進捗状況は。

建設課長 現在の進捗率は54%、工期は、令和7年12月3日までの予定である。
人口減少に伴う公共施設の適正化
問 未利活用施設17施設の1つである旧西根病院の現状を伺う。

市立病院事務局長 週1回程度施設の状況を確認し、危険箇所の把握、外壁材落下防止対策、浄化槽および地下重油タンクの廃止手続きを完了している。
問 西根・松尾地区中学校統廃合における廃校後の管理、利活用の考え方を伺う。



水路越水による土のう設置状況

教育長 学校施設は、地域の機能を担ってきた歴史がある。廃校後の跡地活用は、地域の活性化や発展のために、地域住民が集い、世代間交流の場としての活用が望ましく、地域の意見を伺い検討していく。

会派視察研修

(自由クラブ・日本共産党・松西会)



奈義町子育て等支援施設

八頭町は、平成17年に3町が合併し、平成24年に小学校が8校から4校、中学校が3校から1校になりました。統合により地域全体の衰退や人口減少、若者の都市集中が加速する課題を考え、コミュニティ複合施設「隼Lab.」に取り組んでいました。学校の跡地を有効活用し、企業や地域住民が集う拠点を整備するとともに、同拠点が中心となり、地域課題の解消につながる取り組みを実施。空き校舎の活用を積極的に行っている先進地でした。

- 期日 令和6年11月25日・26日・27日
- 場所 岡山県奈義町、鳥取県八頭町
- 内容 少子化対策の取り組みについて

地域の特性を生かした少子化対策

奈義町は、合計特殊出生率が2.95まで回復し、少子化対策の「奇跡のまち」として注目を集めています。地域のニーズを施策に反映し、住民意識を高めながら支援策を拡充する取り組みをしていました。少子化対策は子育て世代だけの問題ではなく、高齢者福祉と位置付け、世代を超え、住民参加でまちづくりを行っています。



八頭町役場本庁舎前の集合写真

総務教育常任委員会

- 期日 令和6年11月5日
- 場所 葛巻町
- 内容 山村留学に係る事例調査



山村留学の説明を聞く様子

このほか、町から「葛巻高等学校教育振興協議会」へ年間1,500万円の補助金を支出し、通学補助、課外講習などに活用している取り組みの紹介がありました。葛巻高校が廃校になると町内での子育てが困難になることが想定されるため、山村留学制度を取り入れ、生徒数を確保し、高校を維持することを目的としていました。地域との多様な関わりを通して、将来の関係人口となる人材育成を行い、地域の活性化を期待しているとのことでした。

将来の関係人口となる人材育成

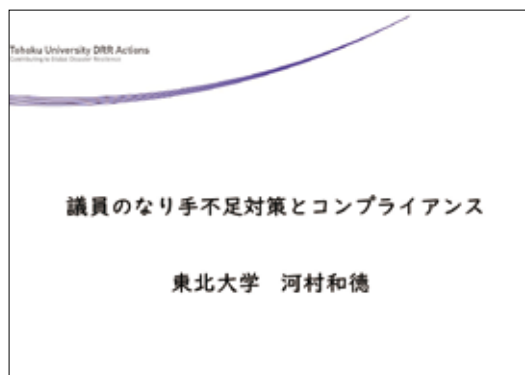
葛巻町では、平成27年度から山村留学を始め、今年度で10年目を迎えます。現在、1年生13人、2年生5人、3年生11人の計29人が学校から徒歩10分に位置する寄宿舎で生活をしています。寄宿舎の費用は、3食付きで月額2万円、さらに町運営の学習塾は無料で利用でき、年間2,500万円を町が学習塾運営会社へ支出しています。



くずまき山村留學生寄宿舎

議会改革推進会議

- 期日 令和6年12月10日
- 場所 八幡平市役所3階大会議室
- 内容 地方議員のなり手不足対策とコンプライアンス



コンプライアンスとは法令や社会的ルールを守ること

が高すぎるという批判がある。一方で、市町村議員は非常勤の特別職であり、専門議員は法律上、無職とされている点や議員年金制度は廃止されているほか市町村議員は国民健康保険や国民年金に加入しており、報酬の低さがなり手不足の一因となっている」と説明がありました。八幡平市の議員定数18に対し、講師からは「人口規模などから見ると適性であり、なり手不足を解消するためには、報酬の引き上げが必要」という意見もありました。

議会の本来の姿は住民の直接参加

東北大学情報科学研究科の河村和徳准教授（町村議会議員のなり手不足対策検討会委員）を講師に招き「議員のなり手不足対策とコンプライアンス」に関する講演を受講しました。講演では、「一般的に地方議員の定数を検討する際に議員を減らすことが、行財政改革に役立つという誤解がある。また、県や政令指定都市の議員報酬



講演に聞き入る市議会議員

産業民生常任委員会

- 期日 令和6年11月6日・7日・8日
- 場所 京都府舞鶴市、福井県若狭町
- 内容 子どもと大人がともに遊びを体験できる子育て交流施設、就農者の定住に向けた就農支援の取り組みに関する調査



「あそびあむ」を視察する様子

若狭町は、行政と集落住民が協力し、大阪の農業企業と連携して、都市からの若者の就農、定住を促進しています。また、集落を活性化することを大きな目標とする「有限会社かみなか農楽舎」を平成13年11月に設立し、2年間の研修で農業だけではなく地域の一員となるよう、農村での暮らし、歴史、文化、地元交流を深める活動をしていました。卒業生は53人で、うち27人が就農者などとして町内に定住しています。

地域のニーズに応じた取り組み

舞鶴市では、子どもたちが天候に左右されず、室内で体を動かして遊べる場所が欲しいという住民要望を受け、子育て交流施設「あそびあむ」を開設しました。子どもと大人が共に遊びを体験する機会を創出するため、大型遊具ではなく、積み木やアイテム探しなど、職員のアイデアで作られた遊具が多数設置されています。



(有) かみなか農楽舎での研修風景



令和6年11月21日の議員全員協議会の様子

令和7年度から部制を施行

令和7年度行政組織機構（案）が示された。第3次八幡平市総合計画の各施策、事務事業の推進を見据え、政策立案の強化、迅速な施策遂行、各部課の横断的対応を進めるため、部制を導入する。また、子育て支援や福祉に関する課を再編し、市民の健康や子育て、福祉施策などを迅速に実施する。部制の導入と課の再編により、市民や関係者に分かりやすい組織機構になるとのこと。市長部局には企画総務部、市民部、福祉部、産業建設部の4部を設置。教育委員会には部長級職として教育次長を新設し、議会事務局長は部長級職とする案となっている。

次は **3月定例会**（予定）
※日程は変更になる場合があります。

期 日	内 容
2月19日(水)	市長施政方針演説 ほか
2月20日(木) ～ 3月3日(月)	休会
3月4日(火)～7日(金)	一般質問
3月8日(土)・9日(日)	休会
3月10日(月)～14日(金)	議案審議、 予算特別委員会
3月15日(土)～17日(月)	休会
3月18日(火)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

開催時刻は一部を除き午前10時からです（終了時間は日によって異なります）。詳しくは、八幡平市議会のホームページをご確認ください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット（YouTubeの八幡平市議会のチャンネル）で録画配信しています。

令和6年12月定例会の視聴回数は 566回です。
9月定例会の視聴回数は1,243回でした。
(令和7年1月7日時点)

クイズ

問 ○の中には、どんな文字（数字）が入るでしょう？

八幡平市議会の議員定数は○人です。

- 応募方法 答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係 FAX：0195-74-2105 E-mail：gikai@city.hachimantai.lg.jp
- 締め切り 令和7年3月7日(金)(当日消印有効)
- 前回(No77)の正解 3（階） 応募者 12人 正解者 12人



八幡平市繁殖育成センターについて

八幡平市繁殖育成センターは、畜産農家から預かった牛を集団管理する施設です。肉用牛と乳用牛を管理する施設は全国的にも珍しく、和牛分娩から市場出荷までの一貫生産を行う施設として注目されています。

施設の概要

センターには牛舎11棟があり、肉牛530頭、乳牛410頭の計940頭を収容可能です。肉牛舎には哺育、育成、分娩、母牛、隔離用の棟があり、乳牛舎には哺育、育成、隔離棟を備えています。付帯施設として堆肥舎、おが屑庫、バンカーサイロ、看視棟、農機具格納庫、飼料原料保管庫が整備されています。これにより、繁殖・育成に必要な機能を包括的に提供できる施設となっています。



実際の施設内部の様子

平笠地区の上坊牧野内に建てられた市繁殖育成センターは、畜産農家の牛を預かることで、設備投資や労力を軽減し、牛の増頭を支援することで畜産振興を図ることを目的としています。平成22年に施設の検討を開始しましたが、利用希望頭数などの課題で25年に計画は凍結されました。27年に再度検討委員会を立ち上げ、生産基盤の維持拡大や地域の畜産振興を目指して計画が再始動。その後、合意形成を経て、令和4年9月1日から稼働しています。

関係機関のコメント

八幡平農業改良普及センター 子牛価格の下落や飼料高騰など、畜産業を取り巻く厳しい状況が続いており、繁殖育成センターの利用拡大に向け、市内畜産農家の方々からお預かりしている牛の増体量の向上や安定した良質な粗飼料確保など、関係機関一体になった活動を行っています。

新岩手農業協同組合 生産者の労働力負担軽減および収益増につなげていくために、職員10名で飼養管理に取り組んでいます。預託頭数の受け入れについては、施設に余裕がありますので、規模拡大、労働力軽減を図るためにも預託をお願いします。

八幡平市繁殖育成センター工事費関連内訳		
項目	設計・工事費	国庫補助金
用地造成・ボーリング調査	3億3,239万円	
建設工事	19億7,951万円	5億7,535万円
機械導入(市負担)	1億3,936万円	
総事業費	24億5,126万円	5億7,535万円

総事業費から国庫補助金を除く18億7,591万円に地方債を活用することで、11億6,214万円が国から地方交付税として交付される見込です。残る7億1,377万円は一般財源からの支出です。

議会のまど

魅力あふれる八幡平市
になることを期待してたむら まりこ
田村 真理子 さん
(五百森)

八幡平市大更で家族とともに農業を営んでいます。生産した野菜の一部を学校給食の食材として納品しており、市内の小・中学校で提供されています。安全・安心をモットーに日々農作業にいそしんでいます。現在建設中の大更駅顔づくり施設は、子育て世帯にはとても魅力的な場所です。近くに屋内で遊べる場所が少なかったので、子どもたちもとても楽しみにしています。また、今年度は市内でのイベントも多くあり、遠出をしなくても楽しめるが多かったと思います。駅前を中心に大更のまち、さらには八幡平市がにぎわっていくことを期待しています。

大 更駅顔づくり施設内の図書館で、書籍の購入などもできると便利だと思います。(山崎・40歳男性)**ギ** カイのひろばは、見やすく、議会を「市民に開かれた場所」にしようという試みが伝わってきて良いと感じました。(北村・19歳女性)**空** き家バンクは、家の中を動画で紹介しており、写真より分かりやすく、良かったです。(山子沢・39歳女性)**仕** 事上、議会を見に行くことができませんので、ユーチューブを見たいと思います。(松川・57歳女性)

クイズで寄せられた意見などを紹介します。

決 算特別委員会の記事は、質問の答えが出ていて良かったです。(湯沢・82歳女性)**ギ** カイのひろばの「声」を見て、同じ30代が意見を表明しており、心強く勇気ができました。(中関・38歳男性)**子** どもが通う大更小学校では、インターネット環境が整っていないように思います。解決してほしいです。(下町二区・44歳女性)**人** 口減少に伴い、使用されていない施設が見られます。今後の市の対応を聞きたい！(寄木・69歳男性)

◆編集後記◆

地方自治体では、市民が市長と議員を選ぶ二元代表制を採用しています。議会の審議・議決を受け、市長が市民へサービスを提供します。「ギカイのひろばの声」や「議員と語る会」では、市民から市への意見・要望が寄せられます。しかし、市民の意見が市政へ反映されても、必ず全てが実現するわけではなく、市民にとっての歯がゆさは、議員も同じです。

委員長 熊澤 博

保育園紹介

平館こども園
保護者会会長えんどう としみ
遠藤 敏美 さん**平** 館こども園では、園の畑でいろいろな種類の野菜や花を育てたり、季節ごとの行事を行ったりしています。子どもたちは日々、ワクワクしながら園の生活を楽しんでいます。12月には無事にクリスマス発表会を終えて、これからは雪遊びをいっぱい楽しむことができます。ソリ遊びやミニスキー、雪だるま作りなど、子どもたちの元気な笑い声が園庭に響き渡ることでしょう。